



上越市立牧小学校

第9号

学校だより

令和4年新年号

発心・決心・持続心



うつくしいものを美しいと思える
あなたのところがうつくしい
相田みつを

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて、1月7日(金)、いよいよ、3学期がスタートし、子どもたちが元気に学校に戻ってきてくれました。

始業式では、寅年は、新たな成長に向けて動き出す段階に入る1年といわれている。新たな成長のためには、「**発心**：さあ、やるぞ！と心を奮い立たせる」「**決心**：やると心に決めたことを実行する」「**持続心**：決心をやり続ける」をもつことが大切である。そして、3学期は、次年度の〇学期。「ふりかえる」「まとめる」「つなげる」学期。「人を大切にする心・チャレンジする心」の『ココロ』、「よく食べよく動く健やかな体づくり」の

『カラダ』、「得意なことを伸ばす」『ワザ』の3つで、新たな成長に向けて動きだそう。と話しをしました。

発心や決心は、容易にできますが、持続させることは難しい。小さな努力をコツコツと積み重ね、小さな成功体験を繰り返していくことが、成長するための近道のように感じます。3学期50日間の学校生活の中で大いに力を発揮してくれることと期待しています。

主役である子どもたちにとって充実した年になりますよう、教職員一同、全力投球で頑張っ参ります。今年も保護者、地域の皆様の学校への温かなご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

成果の大きかった学校支援プロジェクトを終えて…。

2 学期間、上越教育大学教職大学院の「学校支援プロジェクト」を通して、大学の教授と研究室の院生さん 4 名と連携して「学級づくり」と「授業づくり」に取り組みました。連携期間を終え、院生の皆さんから取り組んだ内容や感想等を述べていただきました。

1 年生の担当者

1 年生では「きく」ゲームを朝の会に 4 つ行いました。詳細は割愛しますが、とても楽しみながら取り組み、授業中の先生の話もよく聞けるようになりました。

「きく」以外でもよかった姿を見つけたのでご紹介します。ゲームをするときに子どもたちが輪になって話し合う時間がありました。そのときに、「〇〇さんもおいでよ」「全員顔が見えるように輪になろう」という言葉が聞こえました。友達を思って声掛けができるなんて、なんて素晴らしい 1 年生だ！と感じた瞬間でした。短い間ありがとうございました。

3・4 年生の担当者

3・4 年生では、朝の会や授業の始めに、自分の意見を伝えたり、相手の話を聞いたりする「ホットタイム」活動を行いました。回数を重ねるにつれ、相手の目をしっかり見て友達と話す姿や、相づちをするなど、友達と好意的に交流し成長している姿が見られました。また、ipad で「viscuit(ビスケット)」を使いながら、プログラム学習を行いました。子どもたちが描いた絵をプログラムで動かす活動で難しい内容でした。しかし、実際の授業が始まると、画面の前で固まってしまう子はおらず、創意工夫し、試行錯誤をしてプログラムを進めていく勉強熱心な姿がありました。

最後に、よい思い出をくれた素晴らしい児童たちの活躍を応援しています。短い間ありがとうございました。

2 年生の担当者

2 年生では、「ペアトーク」を実施しました。相手の方に顔や体を向けて会話をしたり、感情のこもった相づちができるようになったり話し方・聴き方に素敵な変化が見られました。

また、低学年の体育の授業「てつぼうあそび」を担当させていただきました。子どもたちが楽しくてつぼうで遊べるように安全面に十分配慮したり、配布資料を工夫したりするなどの取り組みに努めました。

子どもたちの前向きに取り組む姿に力をもらい、私自身成長することができました。貴重な時間をありがとうございました。

5・6 年生の担当者

5・6 年生では、主に朝の会に「ホットタイム」と名付けて、2 人で対話をする活動を行いました。学級のみんなが、誰とでも楽しく話すことができるようになることを目的としていました。はじめは、慣れない活動の中、質問や相づちなど決められた活動で戸惑う様子が多く見られました。12 月に入ると、子どもたちが積極的に活動に取り組んでくれたこともあり、全員が楽しく話しをする様子が見られました。

また、5 年生の算数の授業を行いました。授業の最後の「ラスボス問題」を解く課題では、子どもたちが協力して学習する時間を目指しました。授業中には、話し合う様子が多く見られ、一生懸命に授業に取り組んでくれていました。皆さんと過ごした楽しい時間はアツという間でした。

気持ちを新たに … 校内書き初め会



1月11日(火)に校内書き初め会を行いました。1・2年生は、硬筆、3年生以上は毛筆です。1年生「おおきなゆきだるをつくりました」、2年生「まっ白な雪がたくさんふりました」、3年生「お正月」、4年生「美

しい心」、5年生「新たな道」、6年生「将来の夢」と、冬や新年にふさわしい文字、内容です。新年の新たな気持ちを込めて、真剣に書きました。今後、校内で展示するとともに、コンクールや技能検定に出品します。

ぴかぴか脳の作り方



戸野目小学校の発達障害通級指導教室のお二人の先生をお招きし、ユニバーサルデザインの視点で「学習の約束」「書く約束」「よい発表」「よい聞き方」を学びながら、発達段階に応じた内容で「ぴかぴか脳の作り方」の授業を1・2年生、3・4年生にさせていただきました。(5・6年生は、後日実施いたします)

「ぴかぴか脳」を作るには、学習ルールを守ること、ふわふわ言葉を言うこと、ふわふわ行動を続けること、お互いを応援することが必要だと教えていただきました。

お二人の先生からたくさん褒めていただきながら、楽しく学ぶことができました。そして、学んだことを次の時間も、明日も継続していくことと約束しました。

児童はもちろんですが、担任もユニバーサルデザインに満ちた授業を参観し、大いに学ぶことができました。



クロスカントリースキーは、団体競技。

3学期は、クロスカントリースキーや雪遊びを通して、雪に親しみながら体力づくりやくじけない心等、たくましい心身を育成していきます。体育の授業で、クロスカントリースキーに全校体制で取り組んで参ります。

今年度も、外部指導者や牧振興会様主催のスキー教室では、昨年に続いて世界で活躍した妙高高原のお二人からスキー技術向上のためにたくさんの方を教えていただく予定です。

また、課外スキーでは、個々の目標をもちつつ、第68回信越学童親善スキー大会への出場を目指します。

スキーは、個人競技ではありますが、実は

団体競技でもあるといえます。練習の苦しい場面では、チームとして仲間を励まし、大会では仲間の声援が力になり、いずれもチームの力を借りて、自分のもてる力を精一杯発揮することができます。そして、保護者、地域、学校がチームとなり、子どもたちの活動を支えていきます。選手としてスタートラインに立つのは一人かも知れませんが、スタートバーを切れば、たくさんの方々の力が背中を押してくれることでしょう。まさに、団体競技です。クロスカントリースキーを通して、感謝の心、くじけない心、最後までやりきる力等を子どもたちに身に付けて欲しいと願っています。

新型コロナウイルス感染予防対策について

上越市において、新型コロナ感染者が増え、市内小中学校においては、複数の感染者の報告もされています。学校では、「新しい生活様式」を踏まえた基本的な感染防止対策の徹底を行っています。ご家庭におかれましても、ご家族を含めた健康観察や児童の毎朝の検温と記録等、感染予防のためのご協力を引き続きよろしくお願いいたします。詳しくは、14日に配付した「新型コロナウイルス感染症対策の徹底等について（お願い）」をご覧ください。

2月の予定

今後変更される場合があります

2日（火）牧中入学説明会	13日（日）ごんぞ飛ばし大会
3日（木）全校朝会 委員会 課外スキー	15日（火）課外スキー 第3回学校運営協議会
4日（金）3・4年生八千浦小学校との スキー交流会 （国立妙高青少年自然の家）	16日（水）信越学童親善スキー大会壮行式
7日（月）市SC来校	17日（木）現地練習
8日（火）課外スキー 県SC来校	18日（金）第69回信越学童親善スキー大会
9日（水）避難訓練	22日（火）県SC来校
10日（月）課外スキー（現地練習） PTA総務部会	24日（木）委員会 校内書き初め・版画展
	25日（金）市SC来校
	26日（土）灯の回廊
	28日（月）牧っ子チャレンジウィーク ～3/6

今月のことば：ほとんどの人が途中でやめる。一生修業し続ければ本物になる。

上智大学名誉教授 渡部 昇一